

実験医学

広告掲載のご案内

600号
突破記念号

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、実験医学2017年8月号(600号突破記念号)を右記内容にて発行いたします。つきましては、貴社の優秀な機器・試薬・サービス・書籍等をアピールする場として本誌面をぜひご活用いただきたく、広告掲載のご案内を申し上げます。 敬具

広告掲載料金

掲載面	刷色	スペース	掲載料金
表紙4	4色	1P	300,000
表紙2	4色	1P	250,000
表紙2対向	4色	1P	200,000
表紙3	4色	1P	200,000
表紙3対向	4色	1P	150,000
	1色	1P	110,000
前付	4色	1P	150,000
		ブリード版	165,000
中付 (記事)	4色	1P	150,000
	1色	1P	110,000
後付	1色	1P	90,000
		1/2P	55,000
差込(持込み)		1枚	200,000
タイアップ広告 (記事広告)	4色	2P	380,000

*写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます。
*価格には消費税を含みません。

年間掲載での割引(掲載面問わず;事前申込の場合のみ適用)

広告回数(回/年)	3回	6回	12回
割引率	3%	5%	10%

発行概要

発行部数 : 12,000部
発行日 : 2017年 7月 20日(木) 予定

広告申込概要 B5判オフセット印刷
申込締切日.....2017年 6月 8日(木)
原稿締切日.....2017年 6月 15日(木)
日程は変更になる場合がございます
広告の掲載内容を確認させていただく場合がございます

[モノクロ広告] データ またはポジフィルム (膜面:下 133線)
1頁天地 220 mm ×左右 150 mm
1/2頁天地 105 mm ×左右 150 mm

[カラー広告] データ または4色分解ポジフィルム (膜面:下 175線)
1頁天地 220 mm ×左右 150 mm
ブリード版天地 257 mm ×左右 182 mm
表紙4天地 192 mm ×左右 150 mm
表紙4 ブリード天地 202 mm ×左右 160 mm

入稿形式(データの場合): Adobe Illustrator
使用したOSとソフトのバージョンをご明記下さい。
データは必ずアウトライン化して下さい

【発行元】株式会社 羊土社
〒101 0052
東京都千代田区神田小川町 2 5 1
TEL 03 5282 1211
FAX 03 5282-1212
URL http://www.yodosha.co.jp/

【広告総代理店】株式会社 エー・イー企画
〒101-0003
東京都千代田区一ツ橋2-4-4
岩波書店一ツ橋別館4F
TEL 03 3230 2744
FAX 03 3230 2479
E mail: adinfo@aeplan.co.jp

広告掲載申込書

下記の通り、「実験医学(2017年8月号)」に広告掲載致します。

貴社名: _____ TEL: _____ FAX: _____ 年 月 日

所在地: 〒 _____

_____ 所属 _____ E-mail: _____

担当者名: 掲載場所: _____ 頁/枚 _____ 掲載料金: _____

支払方法: _____ 支払日: _____

広告出稿特典『実験医学600突破記念号への寄稿』を申し込む *詳細は別紙「広告出稿特典のご案内」をご参照ください

特集

実験医学2017年8月号 (Vol.35 No.13) 広告のご案内



読者と考える 医学・生命科学の近未来と研究戦略 (仮題)

企画 / 実験医学編集部 協力 / 水島 昇 (東京大学)

1983年の創刊以来、多くの皆さまのお力添えを賜り、おかげ様で「実験医学」は2017年に通巻600号を突破いたします。このたび2017年8月号では、以下の記念特集を企画いたしました。本企画では、事前のアンケートを行い、医学・生命科学やそこに関わる皆さまご自身の現在・未来についての忌憚ない声をもとに今後の医学・生命科学を考える、分野一体となった特集を目指しております。ぜひ本企画にご賛同・ご協賛賜りましたらと存じ、以下ご検討をいただけますよう謹んでお願い申し上げます。

▶ 特集の詳しい背景は、裏面をご覧ください

概論 読者アンケートからみる医学・生命科学の「いま」
アンケートによって得られた声をふまえながら、業界を語るうえで見逃せない話題を提起します

いま学会・研究コミュニティのあり方を議論しよう
日本分子生物学会, 日本生化学会, 日本細胞生物学会...などのトップらによる座談会を予定

ライフサイエンス (curiosity-driven research) のこれからを考える
日本は科学者の自由な発想が認められない国になってしまったのか? 次世代型研究者筆頭の若手PI
『谷内江望博士(東京大学)×荒川和晴博士(慶應義塾大学)』の対談を予定

メディカルサイエンス (disease-oriented research) のこれからを考える
AMED設立から3年, 応用重視の研究費配分に懸念を示す声も. 現場の医学研究者と疾患の基礎研究の突破口を議論

技術・方法論: イノベーションの源泉を探る
“CRISPR/Cas9によるゲノム編集”の発明者『エマニュエル・シャルパンティエ博士×ジェニファー・ダウドナ博士』にインタビュー. さらに次の技術革新の萌芽を有識者に尋ねます

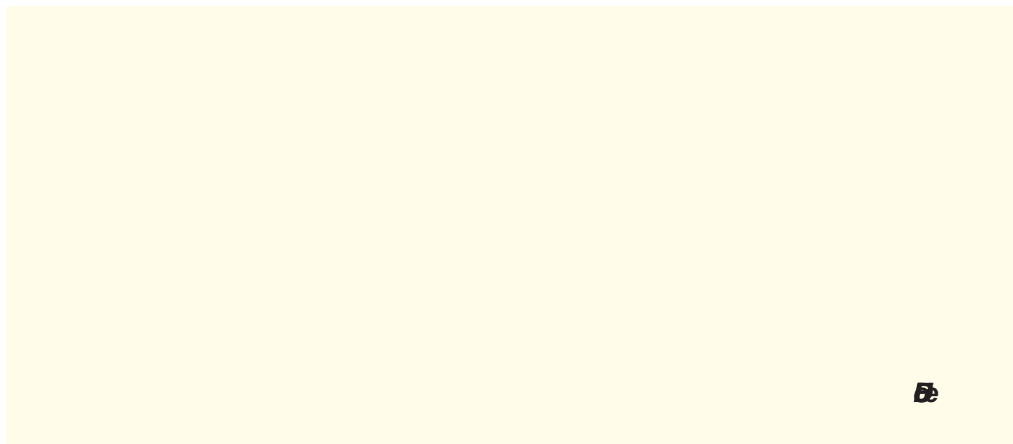
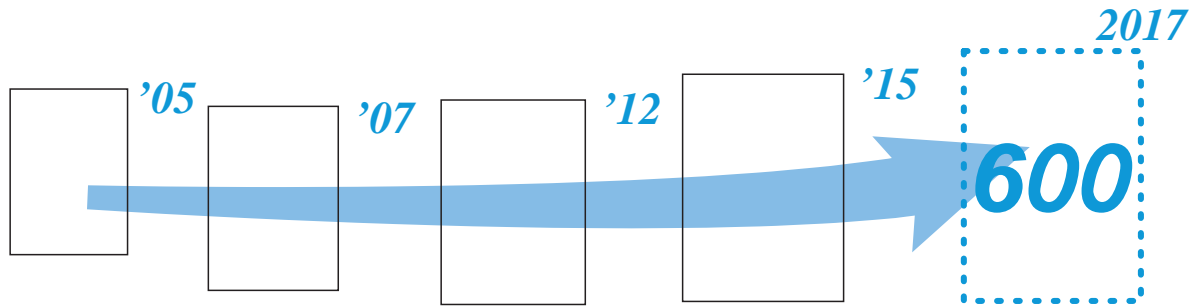
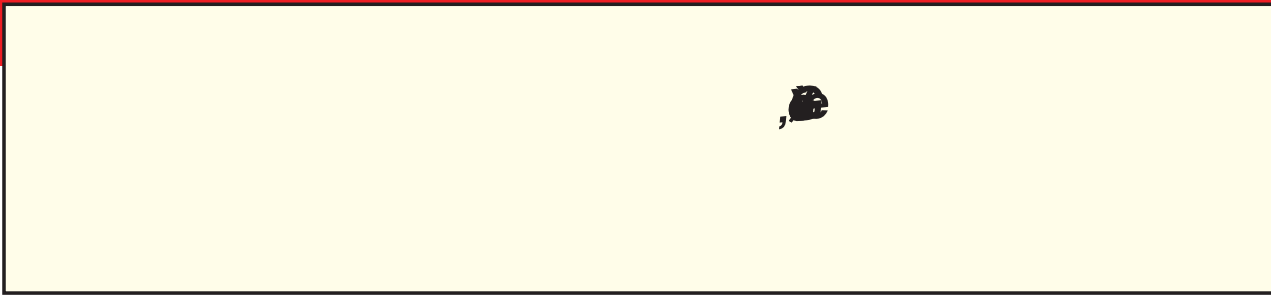
研究生活・キャリアの悩みをひもとく
研究者の等身大の「悩み」をテーマに、若手・ベテラン研究者それぞれの立場からのコメントを併載

・医学・生命科学の近未来(実験医学編集部によるまとめ)

・実験医学600号のあゆみ

本号へのご出稿のポイント

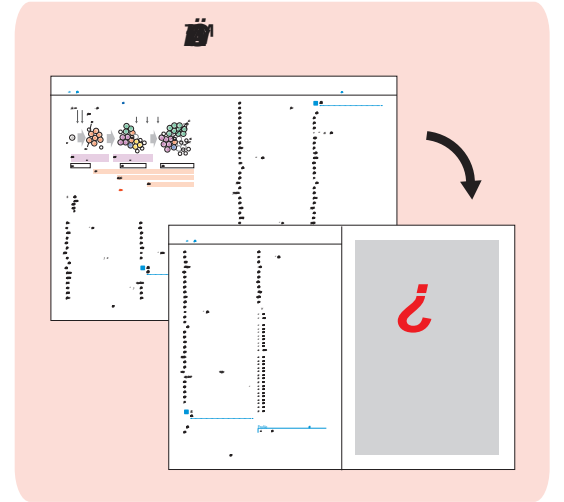
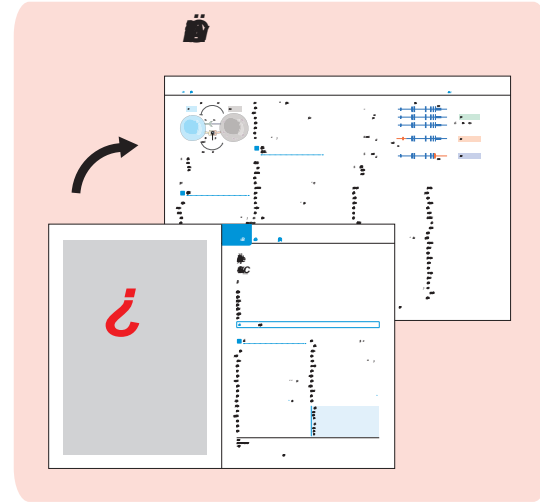
- 実験医学600号突破を記念した、販促活動も予定 (詳細検討中)
- 本特集では、概論や各論のあいだにも広告掲載が可能です! 詳しくは次ページをご覧ください



☆その他人気連載を多数掲載!

実験医学

β
æ • æ wM t k p ,



可定である、お持ち帰りも可能です
